

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和6年度 第2回 中能登町子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和7年1月30日（木）15時30分～16時45分
開 催 場 所	中能登町役場行政サービス庁舎 1階 研修室
出席者および欠席者	出席者：桶井智恵委員、千葉愛委員、屋敷保子委員、輪違好美委員 丹後恵子委員、高野渡委員、久保広美委員 事務局（健康保険課）：山辺浩久課長、吉田領史、中村康熙、高宮忍 欠席者：宮本すみれ委員、土本稔委員
議 題	(1) 子ども・子育て Web アンケートの結果について (2) 計画の骨子案について (3) その他
結 論	・中能登町子ども・子育て Web アンケート調査 結果報告書について説明した。 ・第3期中能登町子ども・子育て支援事業計画骨子案について説明した。
事務局	1. 開会 ただ今より、令和6年度第2回中能登町子ども・子育て会議を開催します。
会長	2. 会長挨拶 皆様、暴風雪の大変な状況の中、時間を取っていただき、ありがとうございます。 第2回目子ども・子育て会議ということで、今日は中身も少し多いですし、ぜひ集中していただき、よりよい意見をいただくようにしたいと思います。よろしく願いいたします。
事務局	本日は、委員の半数以上にご出席いただいておりますので、中能登町子ども・子育て会議条例第7条第3項の規定により、本日の会議が成立していることをご報告いたします。 それでは、この後の議事進行を屋敷会長にお願いしたいと思います。
会長	ここからは会議の次第に従って進めさせていただきます。 議事の内容については、事務局からご説明いただいた方が分かりやすいと思いますのでお願いいたします。
	3. 議事

事務局	<p>(1) 子ども・子育て Web アンケートの結果について (2) 計画の骨子案について</p> <p>～事務局説明～</p>
委員	<p>子ども・子育て支援事業計画の 11 ページ、「(5) 母子保健の状況」について、最近では 5 歳児健診がありますが、その内容と、石川県ではどれくらいの市町村が実施しているかを教えてください。</p>
事務局	<p>5 歳児健診は令和 5 年ごろから国から補助金が出るようになった健診で、県内では金沢医科大学がある内灘町が 10 年ほど前から先進的に取組をしています。今年度から実施しているのが志賀町と宝達志水町で、まだ全自治体には広がっていない状況です。中能登町の場合は、3 歳児健診の場で 1 対 1 のやり取りができることを確認しますが、その後、3 歳、4 歳、5 歳と進んでいく中で社会性が発達していきます。その見極めをしたいのが 5 歳児健診です。当町では 5 歳児健診は導入していませんが、平成 27 年、28 年ごろから 5 歳児に当たるお子さんの年中児巡回相談を各園に出向いて実施しています。巡回のコーディネーターにも来てもらって助言いただき、言語発達が心配な場合は保護者に医療機関受診のお勧めはします。相談体制は整っていますが、医師がいて健診で診断を下すところまではできていないので、能登病院の小児科の先生や医師会とも話し合い、町で今まで行ってきた歴史を踏まえながら、5 歳児健診の実施に向けて準備しているところです。</p>
委員	<p>今はそういう課題があるお子さんが多いのではないですか。</p>
委員	<p>幼児の段階では見極めが難しいのですが、保育士側から気になる、支援をしたほうがいい子という見方で言えば、以前より増えているのかと思います。</p>
事務局	<p>どこにも偏りが無いという人はいない。少しおしゃべりだとか、寡黙だけれど地道にすることが得意とか、スポーツが得意とか、皆さん自分の中でもいろいろ偏りがあると思いますが、偏りがひどすぎて日常生活に支障があり困る場合に診断していただくのが発達障害の診断です。</p>

委員	<p>29 ページに基本目標がありますが、いろいろな子がいて、どの子も個性が伸びると思うので、基本目標に「子どもの人権」を入れてほしいと思います。</p>
事務局	<p>子どもを真ん中に、子どもの人権が保たれる社会を、この地域の皆さんが温かく見守られる町が本当に望ましい地域だと思っています。</p>
委員	<p>Web アンケートの7ページを見ると、皆さん、仕事が忙しい中で、本当に子どもに愛情を持って一生懸命育てていることがわかります。Q9の子育てに不安や負担を感じている人が7割近くなのです。この対策が書かれているとは思いますが、今、お話しいただければと思います。</p>
事務局	<p>令和6年4月にこども家庭センターを設置しました。知っている人が少なかったのですが、こども家庭センターだよりなどを配信しています。こども家庭センターだよりを発行して以降、事業以外の来場者が右肩上がりになっていて、40～50人だったのが1か月に90人以上の方が来所されています。少しずつ周知されてきていると感じています。</p>
会長	<p>こども家庭センターのことを教えてください。</p>
事務局	<p>庁舎に入って一番奥に健康保険課があります。その一番奥にこども家庭センターがあり、センター長の事務職を筆頭に専門職の保健師2名、保育士1名、助産師1名で構成されています。妊娠前の不妊のお悩みから妊娠中の相談、0～18歳の子育て中の子どもや保護者の相談機関となっています。不妊の悩み、母乳が足りているかとか、体重は増えたかなという相談もあれば、言葉が遅いとか、保育園に行き渋るとか、学校に行くのを嫌がるか、18歳までの幅広い相談を受け付けています。</p> <p>0歳児を育てている育休中のお母さんたちが多く、復職されると来られないのですが、家族ではない、子どもでもない、職場の人でもない人と話したいと休みが取れたからと来てくれるお母さんもいます。</p> <p>保健センターにいる頃は乳幼児健診や3歳児健診、赤ちゃん訪問等でお母さんとお会いするだけでしたが、キッズルームもあるこども家庭センターでいつでも相談に乗りますというスタンスになって、母子保健推</p>

委員	<p>進協議会の皆さんのお力もお借りして、いろいろな事業を展開しています。</p> <p>こども家庭センターの部屋に行くまでに皆さんが事務仕事をされている所を通る形で通りづらいので、裏口などから直接入れると入りやすいという意見がありました。</p> <p>こんなに悩んでいる人が多いので、気軽に子育て中の母親同士が交流できる場はないのですか。</p>
委員	<p>個人的な話になりますが、私は県外からの移住者で中能登町に親戚も友人も1人もいない状態です。育児に悩んだ時はまずスマホで地元の友だちに聞きます。例えば、町でこういう場所があります、気軽に来てくださいと提供されても、家から出る時点で気軽ではないのです。子どもがこども園、小学校と行って、同じクラスのお母さんたちと話したり、情報交換したりする基盤はできているので、私はそれほど大変ではないのですが、皆さんが皆さん、そういう性格ではないので。</p>
委員	<p>保育園に子育てわくわくルームがありますが、そこは気軽に誰でも行けるのですか。</p>
委員	<p>はい。大丈夫です。</p>
委員	<p>本当に悩んでいる人は行かないと思います。</p>
会長	<p>一番はホットラインだと思います。例えば、町がホットラインとして、こども家庭センターで気軽に相談するには、まず、担当者がこういう専門職のメンバーがいて、どんなことでもいいですと、まずはホームページやLINEから入ってくださいという形でもいいと思うのです。その上で相談員が訪問しますという流れでもいいと思います。町の窓口対応も同じと思いますが、スピーディーな対応はとても大事です。</p>
委員	<p>放課後児童クラブの利用が最近増えていて、核家族の人が増えているので、児童館は減っている。ただでさえ、学校に入学する子どもが減っているのに、皆さんは学童のほうに流れていきます。ただ、児童館は0</p>

<p>会長</p>	<p>歳から 18 歳まで利用でき、子育て中でも気軽に入れますし、土曜日、日曜日も開いています。場所だけ提供して、主催者が人を集めて赤ちゃんのマッサージなども実施されました。そのようなことを町としても考えて児童館を利用してもらえれば良いと思います。</p> <p>町の資源ですので、子育てをしている人に、もう一度、対象年齢や施設の利用を丁寧に周知することが大事かと思います。</p> <p>このアンケート結果の中に、子どもと一緒に遊ぶ場所がほしいとあります。町内では、古墳公園や道の駅、レクトピアパークなど屋外はあると思いますが、残念ながら屋内が無いというのが圧倒的な意見でした。石川県は雨が多い地域で、温暖化で夏の暑さがあり、滑り台で子どもがやけどしそうなくらいで、遊ぶ場所が制限される。ここにフォーカスした対応をこの事業計画の中で盛り込んで頂くと。羽咋のラクナやかほく、氷見までいかなくても町内で時間を有効に活用しながら、町内が良いところだということ発信したり、利用できる、そういうのがあればいいのではないかと思います。</p> <p>たくさん大きな箱を造るとお金がかかるので、例えば今ある施設をリフォーム等で活用し、子どもと親が知恵を出して作れるような遊具があったり、体を動かすところがある。また、アンケートにあったプールも 1 つにすれば管理費も削減でき、もっと効率のいい運営ができます。既存のプールの所にテントを作るくらいでもいいと思います。そういうことを委員の意見として入れてもいいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今回、このアンケートをまとめて、こうしていきたいというものを作るだけなのか、実際にアンケートの内容を踏まえて、こういうことをしていきたいと思いますという話をしていく場なのか見えなくなりました。</p>
<p>事務局</p>	<p>この場は、今言われた前段の部分になり、基本計画を立てるのが主眼になっている会議です。それに基づいて骨子案の 30 ページの基本線を出し、それに沿った施策を考えて実行していきましょうというところが今回の仕事の終わりになります。</p>
<p>委員</p>	<p>こういう要求があるということをもとめるということですか。</p>

事務局	<p>そういう要求をカテゴリーの中に入れていき、その目的を達成するためにどうしていくかは今後の話です。今回は今後5年間でどういった方向に持って行くかを議論する場になっています。</p>
会長	<p>これから5年間の中能登町の子育てをどうするか。そのために前の2期目でも5年間の計画があって、まず町の施設として保育園があり、就労の人が多いため学童といったサポート体制がある。それから質の問題。子育てしていくうえでの質を上げるためには、例えば心の相談や悩みであったり、どうやったらよりよい保育ができる環境づくりをするかとか、どうやって発信していくかとか。アンケートは子育てする人の悩みが一番ですから、そこにフォーカスして、今回その内容をデータ化することによって課題が見えてきた。それを基にして、行政としてどんな計画を持ってやっていけば、いい子育てができる町づくりになるのか、私達はチェックする。チェックして、こういう内容を見直してから計画を挙げた方がいいのではないですかという役割。最終的には議会が決議するので、私達はその前の段階のところを今やっている。</p>
委員	<p>このアンケートは保護者の意見がたくさん集められて、その声を知るいい機会になっています。じっくり目を通して保護者の考えを知って、保育園ではどう対応していくのか、これから考えていく必要があると思いました。</p> <p>アンケートで「悩んでいることや困っていることは何ですか」という質問があり、小学生児童の保護者では「子どものスマートフォンやインターネットの使い方に関すること」が多かったのですが、スマートフォンは保育園のときから手にしている様子うかがえ、実際、未就学前児童の親もどうしたらいいのかという思いがあるのかと思いました。</p>
会長	<p>自宅で過ごすことが多く、家の中ですることは限られていて行動範囲が狭いので、どうしても、そちらに行ってしまう可能性はあります。先ほども屋内の施設といいましたが、やはり体を動かして体験したり学んだりすることはとても大事だと思うのです。1年前に震災があって、断水などいろいろなことで、どうしたら生活ができるかと体験し、たくさんの学びがあったと思います。そういうことができる場所があると出かけるきっかけにもなり、体を動かせば睡眠の導入も早くなるなど、いろ</p>

委員	<p>いろいろな効果があるのではないかと思います。</p> <p>このアンケートの中身をしっかりと読むと、いろいろなことがわかるのではないかと思います。次回もありますので、ぜひ、読んでいただいて、また、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>子どもは地域の宝ということで、我々もいろいろな活動に顔を出して、悩みがあれば行政につないだり、関係課につないだりする立場ですが、アンケートの中にあった小児科の設置が大事だと感じました。</p> <p>子どもの遊び場がないという話がありました。私も高島ですが、子どもの声が聞こえないと感じます。子どもが少ないから家にいると安心という考え方もありますが、我々の時代は子ども同士でけんかしたり、いろいろなことをして成長しました。テレビやスマホゲームだけになると考え方が狭くなって目も悪くなります。こども家庭センターも大事ですが、親の考え方も変えていかないと子どもは成長しないと思います。</p> <p>子どもが何かあったときに相談できる場所は、こども家庭センターもありますが、地域でもつくっていったらいいかなと思いました。</p>
会長	<p>アンケートの中に「診療所を毎日あけてほしい」とありました。確かに、レクトピアパークで医療の先生方を呼んでやってみようということでしたが、実質、開業されている方いないですね。小児の問題は結構大きく、小児科医がどんどん減ってきています。子どもが少ないので運営できないということがあるかもしれません。診療所の問題が解決できればぜひ、かかりつけ医として小児がかかれるような場所を常時開設してもらおうということを加えていただいたほうがいいかと思います。</p> <p>スマートフォン問題は、外に行って集まる場所があれば交流ができ、スマートフォンから離れた親同士の会話、子ども同士の接触があると思います。</p>
委員	<p>第3期中能登町子ども・子育て支援事業計画の8ページ、「(4) 保育事業の状況」の「延長保育の状況」がありますが、とりやのの子ども園で多く利用があります。料金を教えてください。</p>
事務局	<p>18時以降で、30分100円です。</p>

委員	どこの保育園からでも利用できるのですか。それとも別ですか。
会長	別です。もともと通園しているところでの延長保育です。
委員	これだけ利用人数が多いということは、結構共働きの人が多いということですか。
会長	土日のカウントも入るのですか。
事務局	延長保育は平日のみです。日曜日は休日保育になります。
会長	<p>私立のとりやのの子ども園は、わりと柔軟な利用が多いのですかね。この数字は多いように見えるかもしれませんが、最初のほうのアンケートに延長保育が減っているということがあったと思います。フルタイムで働いている方もいますが、ある程度、延長しなくても迎えに行けるような企業側の取り組みがあったり、保護者が時短でお迎えに行くとか、そういうことをしているのではないかと思います。</p>
会長	<p>ある程度、ご意見が出ているようであれば、事務局でそういった意見を入れた事業計画にさせていただければと思います。</p> <p>先程の話は 51 ページにあった放課後の居場所づくりや子どもの医療費助成、屋内の子どもの遊び場のニーズが多かったということですね。</p>
委員	<p>屋内の遊び場について、中能登町立図書館の絵本コーナーの隣に遊び場があり、手づくりの木製遊具などがあります。中能登は自然がいっぱいで、例えばレクトピアパークでも子どもたちがたくさん遊べるはずで、そういう所を利用すればいいのにと考えています。</p>
会長	<p>先日、レクトピアパークに行きましたが、リニューアルされていて、0歳児から就学前の子どもさんが遊ぶのにととても配慮された施設だと思いました。もう少し年齢を上げたところで、例えば、バスの乗り方なども体験できる日などを活用すると、町を知る機会にもなるし、働いている人たちを学ぶ機会になっていいのではないかと思います。</p> <p>よろしければ、今日の議事はこれで終了したいと思います。</p>

事務局	<p>それでは、(3) その他について、事務局からお願いします。</p> <p>(3) その他</p> <p>次回、第3回会議については、事務局案として2月26日(水)午後3時30分から開催したいと思います。いかがでしょうか。</p>
会長	<p>1か月程度で事務局のほうで事業計画を作って、2月26日(水)15時30分からというご提案です。その日時で案内させていただきますが、大事な事業計画になりますので、ぜひ、次回も皆さんにご出席いただきたいと思います。</p> <p>今日の議題は以上で終了しましたので、事務局にお返しします。</p> <p>4. 閉会</p>
事務局	<p>以上を持ちまして、第2回子ども・子育て会議を閉会します。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>

全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p>
担当課	健康保険課